

「人工心肺を用いた心臓手術におけるプロタミンの血圧低下作用に対する ウリナスタチンの保護効果の検討」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2015年1月から2019年12月に山梨大学医学部附属病院で人工心肺を用いた心臓の手術を受けた方へ

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2025年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年5月13日

4. 研究の目的

人工心肺を使用する手術では血液をさらさらにするためにヘパリンを使用しますが、人工心肺離脱後、ヘパリンを拮抗するためにプロタミンという薬剤を使用します。プロタミンの副作用として血圧低下があります。ウリナスタチンはタンパク分解酵素を阻害し心筋抑制因子産生を抑制する薬剤ですが、しばしば人工心肺を使用する患者様に投与されます。近年、私達はラットの心臓においてウリナスタチンがプロタミンの心毒性を和らげることを報告しました¹⁾。しかし、臨床において、ウリナスタチンがどの程度プロタミンの血圧低下を和らげるかは分かっていません。そのため、2015年1月から2019年12月までの人工心肺を使用した予定心臓手術を受けた患者様を対象に後ろ向きに電子カルテの情報を収集させていただきます。

この研究によりウリナスタチンとプロタミンの血圧低下との関連性が分かり、今後の麻酔方法へ役立てることが出来ます。個々人の患者様にとっては不利益を被ることもありません。

1) Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol. 2021;394:373-381.

5. 研究の方法

対象となる患者さんの診療録の情報を用いて、プロタミン投与後の血圧変動・昇圧剤の使用状況などを比較検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 麻酔科学講座 大宮 啓輔

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

本研究にあたり利益相反はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学 麻酔科学講座 大宮 啓輔

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：kohmiya@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6755